

機械器具 1 手術台及び治療台  
一般医療機器 汎用診断・処置用テーブル (13958009)

## 処置台 EX-RFA

### 【警告】

- 1) 患者及び使用者の手・指・身体の一部を機器の可動部や可動部の周辺に近寄らせないこと。  
[挟まれて人身事故の原因になります。]

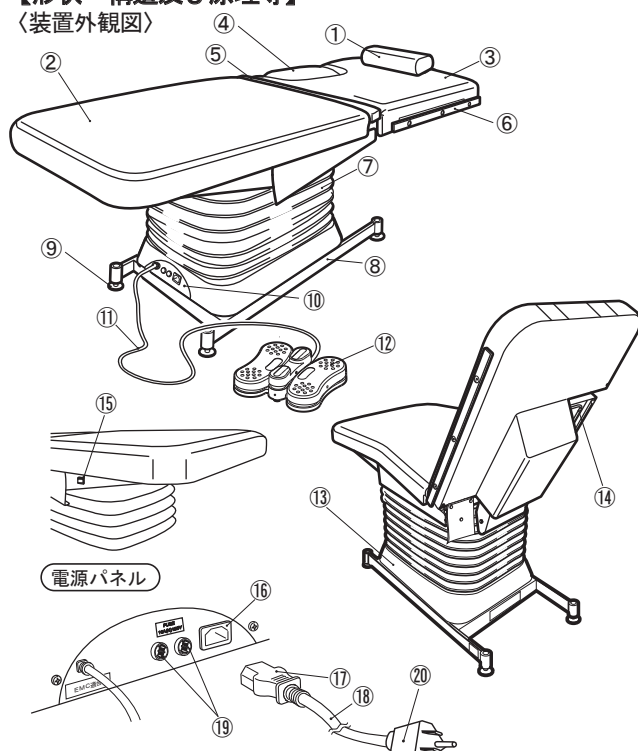
### 【禁忌・禁止】

#### ＜併用医療機器＞

- 1) 本製品の電源が入った状態で、本製品とラジオ波治療器を同時に使用しないこと。  
[誤動作の防止(相互作用の項参照)]

### 【形状・構造及び原理等】

#### ＜装置外観図＞



- ①枕 ②シート ③背モタレ ④胸部 ⑤隙間クッション  
⑥サイドレール ⑦ジャバラ ⑧ベース ⑨アジャスター  
⑩電源パネル ⑪フットスイッチコード ⑫フットスイッチ  
⑬ベースカバー ⑭胸部昇降操作レバー ⑮電源スイッチ  
⑯機器用インレット ⑰機器用コネクター ⑱電源コード  
⑲ヒューズ[10A(N) 125V] ⑳電源プラグ

- (1) 本体寸法・・・1950 mm×700 mm  
(2) 質量・・・144kg  
(3) 電気定格・・・AC100V 4.6/5.4A 50/60Hz  
(4) 動作原理・・・電動油圧式

#### ＜性能＞

- (1) 本体昇降範囲・・・460 mm～960 mm (電動油圧式)  
(2) 背モタレ昇降範囲・・・0°～70° (電動油圧式)  
(3) シート昇降範囲・・・0°～8° (背モタレ連動式)  
(4) 胸部昇降範囲・・・0°～90° (手動式)  
(5) 2ポジションメモリー機能 (7ポジションメモリー)・・・フットスイッチ操作  
(6) コントロール操作電圧・・・DC5V  
(7) 使用期間・・・連続使用時間 3分以内  
(8) 電撃に対する保護形式・・・クラス I B形装着部

#### ＜動作保証条件＞

下記の条件にて使用すること。(但し、結露しないこと)

温度…10℃～40℃

湿度…10%～90%

\* 気圧…700hPa～1060hPa

### 【使用目的又は効果】

本製品は診断・処置に用いられるものである。本体及び背モタレが昇降、背モタレの右胸に位置する部分が屈折する機能を持っている。

### 【使用方法等】

#### ＜設置方法＞

- ・機器の取付・設置は専門の担当者(当社又は当社指定の業者)が行なうこと。(取扱説明書の「設置」の頁を参照のこと。)
- ・処置台は、必ず平らで丈夫な床の上に設置すること。  
床面が5°以上傾いている場所へ設置すると処置台が転倒するおそれがあります。
- ・壁際に設置される場合、枕、背モタレ、シート、上肢台を壁から10cm以上離して設置すること。
- ・処置台のアジャスターは必ず固定すること。

#### ＜使用方法＞

- ①機器用コネクターを機器用インレットに差し込み、電源プラグをアース端子付コンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
- ②処置台の操作はフットスイッチで行います。
- ③処置終了後は電源スイッチを切り、アース端子付コンセントから電源プラグを抜いてください。

機器の詳細な操作方法及び使用方法については付属の取扱説明書「操作方法」の項を必ず読むこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

BEFC10E0

## **＊ ＊ 【使用上の注意】**

### **〈重要な基本的注意〉**

- 1) 機器周辺に、患者以外（特に子供）を近づけないこと。  
やむを得ず、患者以外を近づける場合、機器の操作中は、患者以外の安全にも考慮すること。[挟み込みによる怪我の防止]
- 2) 本製品は出荷時に消毒・滅菌などがされていないので、使用前に清拭作業を行なうこと。
- 3) 人体質量135kgより大きな人、及び同時に複数の人を乗せないこと。
- 4) 薬液等が樹脂や金属塗装面に付着した場合、樹脂が変質したり、塗装が剥れ、内部金属が腐食する恐れがあるので、速やかに清拭してください。
- ＊ ＊ 5) 他の医用電気機器と併用する場合、電磁的影響による不正確な動作が発生することがないか使用前に確認すること。
- 6) プリセット位置 (P1)、オートリターン位置 (P2) 設定時及び設定変更後は、作動範囲や周りに人の身体や手足、障害物がないか十分注意すること。  
処置台に挟まれ、人身事故や物損事故などの原因になります。
- 7) 上肢台を使用する際には必ず固定されていることを確認すること。
- 8) ワージャバラがはずれた場合、絶対に作動させないこと。
- 9) シート及び背モタレの作動中は胸部の操作は行なわないこと。
- 10) 背モタレ、シートのみを持ち上げて移動させないこと。

### **〈相互作用〉**

### **〈併用禁忌〉**

| 医療機器の名称等 | 臨床症状・措置方法             | 機序・危険因子                    |
|----------|-----------------------|----------------------------|
| ラジオ波治療器  | 併用する場合は必ず本製品の電源を切ること。 | 電磁干渉により本製品が誤動作をするおそれがあるため。 |

## **【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者

タカラベルモント株式会社

TEL : 06-6212-3620

販売業者

## **\* 【保管方法及び有効期間等】**

### **〈使用期間〉**

非連続作動

最大作動時間 3 分

デューティサイクル 1 : 5

### **〈耐用期間〉**

- ・本製品の耐用期間は、正規の保守点検をした場合に限り 1 0 年間です。[自己認証（当社データ）による]
- ・シート、枕などのクッション部品、及びスイッチ類は使用環境によって異なります。

## **【保守・点検に係る事項】**

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ず読むこと。

- 1) 機器及び部品は必ず日常点検を行うこと。
  - ・コード類の破損及び接続状態の確認。
  - ・外観の破損状態の確認。
  - ・設置状態の確認。
  - ・各部が正確かつ安全に作動することの確認。
  - ・ゆるみ、ガタ、傾き、振動、音、温度、臭気などに注意する。
 以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。
- 2) しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行い、清拭作業を行った後、必ず機器が正常に、且つ安全に作動することを確認すること。

### **●機器を廃棄するとき**

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、その時点での法規制にしたがい、適切な処理をしてください。

取扱説明書を必ずご参照ください。